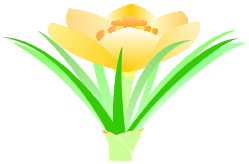
いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２１７
２０２５（令和７）年３月２５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　春、新しい物語が始まる　』

今金町教育委員　　水戸部　明子



すっかり日が長くなり寒さも少しずつ和らいできました。

３月の祝日「春分の日」は昼と夜の長さがほぼ等しくなることで知られていますが、一方では「自然をたたえ生物をいつくしむ日」とされているそうです。春は植物が芽吹き、動物たちが冬眠から目覚め、新たな生命の誕生を感じられる季節。春分の日は生き物や自然の大切さを感じながら春の訪れを楽しむ日ということなのでしょう・・・



また、３月は毎年、卒業式や卒園式、送別会など人間社会の営みに不可欠な行事の予定が集中しています。先日、各学校の卒業式に出席させていただきました。凛とした空気の中、卒業生・在校生ともに祝辞などを聞く姿勢はとても立派で送辞や答辞も素晴らしく感激しました。

卒業は寂しさを伴いますが、それは新たなスタートでもあります。この春、新たな一歩を踏み出す皆さんへエールを送ります。



希望の春に

雪解け
寒い季節にも頑張った者だけが感じられる希望の訪れ
３月はいつもこういう感情が胸をよぎります
心の中に何かふわっとした期待が
そんなことを考えていたときからもう３週間
卒業式、合格発表が終わり、人事異動の発表　　喜び　寂しさ　この先への希望
変化への期待を自分の中での活力に変えられる旅立ちの時
過ぎ去ったことはもう過去です
決してこれまでのことを忘れてしまってなんて気持ちじゃない　むしろ引きずるタイプだけど
あるのは希望だけ　新たな気持ちで頑張ろうと思います
前を向く　みんな頑張ってほしい　きっと良いことあるよ
４月が来ます

